

平成 22 年度第 5 回(第 26 回)CPD WG 議事録

日時：平成 23 年 2 月 3 日（木） 13:30～14:30

場所：日本工学会事務所（港区芝 5-26-20 建築会館 6 階）

出席者（順不同、敬称略）：

主査 関田 真澄（(社)日本冷凍空調学会 事務局長）
理事 橋谷 元由（(社)化学工学会人材育成センター/部長）
委員 木村 軍司（首都大学東京 名誉教授、電気分野）
委員 児玉 公信（(株)情報システム総研 取締役副社長、情報分野）
委員 片山 功三（(社)土木学会/技術推進機構長）
委員 山本 誠（東京理科大学工学部機械工学科/教授）
委員 黒澤 兵夫（TAKE 国際技術士事務所、日本技術士会）
事務局 四戸 靖郷

配布資料：

CPD10-26-1：前回(第 25 回)CPD-WG 議事録

CPD10-26-2：第 1 回、第 2 回選考委員会議事録

CPD10-26-3：コンソーシアム第 6 回幹事会議事録案

議事：

関田主査が議長となり議事が進められた。

1. 前回(第 25 回)CPD-WG 議事録確認

前回 CPD-WG（8 月 9 日開催）の議事録および CPD ポータル・ソフトウェア開発委託事業者に対する書類審査・選考会議（10 月 1 日、5 日開催）の議事録については、事前に送付し確認いただいていることからこれを了承した。

2. CPD 協議会から人材育成コンソーシアムに参加の報告

片山委員から資料に基づき、CPD 協議会（CPD WG）からオブザーバとして参加した「科学技術人材育成コンソーシアム」の幹事会における審議概要について説明があった。特に、同コンソーシアムでも Web サイトの構築を計画しており、それに対し CPD 協議会で計画中の Web 上の CPD ポータルについてその概要を簡単に説明した旨の報告があった。これに関し、橋谷理事から同コンソーシアムの幹事会に CPD 協議会から片山委員を推薦した経緯について説明があり、これを了承した。

3. CPD ポータルサイトの中間報告と検討事項

児玉委員から Web 画面等を用いて、CPD ポータル・ソフトウェア開発業者（(有) MIRAI MUGEN）における開発状況について、作業が若干遅れていること、システムでの対応がむずかしい PDF ファイルを用いている学協会もあり何らかの対応が必要であること、本格実施の前に試行（テスト）を考えているが、どのように試行を行うか事前検討が必要であること等について説明があった。

本件について議論の結果、プログラム表示画面、今後のスケジュールおよび周知方法について以下のように対応することとした。

- CPD プログラムの表示画面には、日付、場所、タイトルが必須であるが、ID は削除する。CPD プログラムのページ見本または標準化も必要に応じて検討する。
- CPD ポータルの先行試行：2月下旬に1週間程度でCPD WG メンバーの学協会で実施する。その評価結果を受けて、各学協会に試用と確認の「協力依頼文書」を出す。
- CPD ポータルの試用：3月からCPD 協議会会員学協会において実施する。そのための「協力依頼文書」（URL の提供依頼やアクセス方法の説明、制限されるコンテンツ様式（クローリング機能でうまく情報が取れない学協会のページについて対策の検討が必要）の説明など）を作成する。この「協力依頼文書」の原案は児玉委員に作成いただき、メンバー間でメールにて確認する。
- CPD 協議会シンポジウムの開催：昨年10月に開催したシンポジウムに引き続き、平成23年度も開催することとし、時期は多くの学協会の総会が5月に開催されると想定されることから、6月以降、ECE WG の川島主査とも相談のうえ、日程を決めることとする。なお、シンポジウムの開催のタイミングに関して、CPD ポータルをある程度使用してもらい、それに対するアンケート調査を実施し、その結果をシンポジウムで紹介してはどうかとの意見があった。

本件に関して、昨年、岡崎市立中央図書館で発生したアクセス障害に対し利用者が訴えられ逮捕された事件が紹介され、頻繁にデータを取りに行くことは場合によってはサイバー攻撃と見なされる場合もあるので、学協会のページに頻繁なアクセスが行くことについて説明の文書が必要との指摘があった。

以上